

令和4年度 特別表彰受賞者（※学年は令和4年度当時 順不同）

COCセンター、研究室（ゼミ）、サークル・ボランティアなど、さまざまな活動を通して、学生は地域で活躍しています。特に顕著な活動実績があり、リーダーシップを発揮した7名に特別表彰が授与されました。7名の活動をご紹介します。

地域健康長寿を担う健康増進啓発活動の推進 薬学部 6年 川瀬 裕斗

静岡市内各地での健康イベントに指導的役割で参加し、健康増進啓発活動を推進した。特に静岡市と共同で継続的に実施している健康増進普及月間イベントでは、感染症対策等に留意しながら、リーダーシップを発揮し、学生の中心となる立場で、イベントを円滑に運営し、地域住民の健康啓発に貢献し、地域住民から高い評価を得た。

静岡地域におけるコンサルティング活動 経営情報学部 4年 井出 匠

岩崎ゼミのゼミ長としてリーダーシップを発揮し、ゼミ活動をマネジメントするとともに、「大学生によるお店コンサルティング（通称：大コン）」、「アグリビジネスコンサルティング（ABC事業）」などの地域との連携活動に積極的に関わり、地域から高い評価を得た。「大コン」では、静岡市の個店の魅力向上に寄与したとして、静岡市長から感謝状を贈呈された。

富士市鷹岡地区における健康教育の実施など 看護学部 4年 大島 響弓

富士市鷹岡地区において、生活習慣病の改善に向けて、学生メンバー6名のリーダーとして健康教育を実施した。地区キャラクター「たかぴファミリー」を考案し、子育て世代へのアピールに努め、富士市鷹岡まちづくりセンター並びに地域住民から高い評価を得た。また、静岡市南部保健福祉センターでも母子保健などのボランティア活動を継続し、地域に貢献した。

食育SATシステムを活用した食育イベントの運営 大学院 薬食生命科学総合学府 博士前期課程 2年 豊永 咲

健康食イノベーション推進事業「データヘルス・リビングラボ」では、食育SATシステムを活用した「食事の見える化」イベントの構築や実践に積極的に関わった。静岡市地域福祉共生センター「みなくる」における健康フェスタ等のイベントでは、学生のリーダーとして、学生を取りまとめ、自らも管理栄養士として地域住民の健康リテラシーの向上に貢献した。



左から、大島響弓さん、川瀬裕斗さん、出口幸映さん、合田敏尚センター長、尾池和夫学長、井出匠さん、田中彩恵さん、豊永咲さん、松本花奈さん



K-Commuでの活動及び学生広報大使リーダー 国際関係学部 4年 出口 幸映

学生有志団体K-commuの活動に発足当初から携わり、コロナ禍において、学生と教職員とを結びつける役割を担った。K-commuのさまざまな企画を通して、学生が学生生活を活性化させることができるよう尽力した。また、学生広報大使のリーダーとして、学内外に向けて静岡県立大学の魅力を発信し、静岡市や他大学との連携を深め、地域社会に貢献した。

菊川市ふるさと納税寄付金額向上の取組など 経営情報学部 4年 田中 彩恵

2年間にわたり菊川市のふるさと納税寄付金額向上に主体的に取り組み、学生目線で新規返礼品を考案、短期間で100万円余の寄付金を獲得した。この活動が評価され「第5回学生が選ぶインターンシップアワード」で入賞した。牧之原市の「魅力いっぱいインターンシップの提案」では、企画の提案だけでなく、Webページやパンフレットの作成なども手掛け、地域に貢献した。

学生への食糧支援と居場所支援（小鹿たべものカフェ） 看護学部 3年 松本 花奈

コロナ禍で困りごとを抱えた学生に食糧支援や生活ヒアリングを行う「たべものカフェ」を小鹿キャンパスにおいても実施可能にするため、メンバーを募集し、後輩を指導するなどリーダーシップを発揮した。また、「たべものカフェ」が持続可能となるように、外部資金の獲得にも取り組み、「NHK歳末助け合い」事業に採択され、助成金を獲得した。

地域を学んで未来を創る

～地域からグローバルへ～

静岡県立大学は、COC(Center of Community 地(知)の拠点)事業に取り組んでいます

目指す人材像：コミュニティ・ワーク力を備えた人材

コミュニティ・ワーク力とは・・・地域の課題を解決するために、地域とともに、世代・分野・職種を超えて「チーム活動」を牽引する能力

静岡県立大学COCでは、地域とともに、世代・分野・職種を越えた「チーム活動」を牽引する「コミュニティ・ワーク力」を備えた人材の育成を進めており、学生が卒業後も地域で継続的に活躍し、その成果を本学学生に還元する、人材の循環型システム「地域志向の人材育成の静岡県立大学モデル」の構築を通じた地域貢献活動を展開しています。そのスタートが、「しずおか学」の履修による「地域の知識」の学びです。

Step1 「しずおか学」を学ぶ（選択必修）

「しずおか学」科目群：静岡の文化や歴史、産業などの地域に関連した全学共通科目

しずおか学科目群 一覧（令和5年度開講予定）		
茶学入門	静岡の健康長寿を支える取り組みと人々	ふじのくに学（富士山）
静岡地域食材学A	ムセイオン静岡-MUSEUMと文化A	ふじのくに学（お茶）
静岡地域食材学B	ムセイオン静岡-MUSEUMと文化B	ふじのくに学（農林業）
ムセイオン静岡-舞台芸術A	ムセイオン静岡-世界の文化遺産A	ふじのくに学（観光学）
ムセイオン静岡-舞台芸術B	ムセイオン静岡-世界の文化遺産B	ふじのくに学（演劇論）
静岡の防災と医療	新聞でもっと静岡を知ろう	ふじのくに学（南アルプスの自然）
地域づくりの方法	企業経営者に学ぶ静岡のビジネス最前線	ふじのくに学（静岡県の産業イノベーション）
静岡の市民活動	歴史から読み解くしずおか学A	ふじのくに学（森林生態系からの恵み）
SDGs 概論	歴史から読み解くしずおか学B	ふじのくに学（伊豆の温泉と産業おこし）
ふじのくに gastroノミーツーリズム：観る・食べる・学ぶ		健康イノベーション教育プログラム
静岡「知」各論-食品環境科学と地域企業の視点から-		※しずおか学科目群から2単位以上を卒業までに履修すること ※A/Bはそれぞれ1単位で、別々に履修可能



講義



ワークショップ



プレゼンテーション



企業訪問

※「ムセイオン静岡」とは

本学草薙キャンパス周辺にある7つの教育文化機関（静岡県立大学、県立美術館、県立中央図書館、県埋蔵文化財センター、県舞台芸術センター（SPAC）、グランシップ、ふじのくに地球環境史ミュージアム）が連携し、「ムセイオン静岡」として、文化を創造・発信し、文化振興やまちづくりに貢献する自主協働の活動を進めています。授業は、この協働のもと、美術館などの施設見学、各施設の専門家をゲスト講師に招いた講義などを通じて、国際社会で活躍する上でも重要となる文化的教養を身に付けることを目的としています。地域の資源を知り、地域で活用するひとつの方法を学ぶことができます。



「ムセイオン」...古代エジプトのアレクサンドリアに興った世界初の学問・教育・文化・芸術の総合施設で「ミュージアム」の語源と言われる